

事例6： 社会医療法人寿量会 熊本機能病院（熊本県）の取り組み

「理学療法士等の支援により、看護師が医療処置に集中できた」

概要

- (状況) 1病棟（COVID-19対応病床5床）に計10人の入院患者。
看護師は業務が多く、医療処置に十分に集中することができなかった。
- (支援) 115日間、延べ159人（2人／日）の理学療法士・言語聴覚士が業務支援（協業）を実施。
（第1波5/3～5/29、第2波7/30～10/1、第3波12/1～12/24継続中）
- (結果) 看護師が医療処置に集中することができた。

コロナ対応病棟での支援

- ・ コロナ感染患者に対してのリハビリテーション提供：あり
- ・ 環境調整（療養生活環境、ベッドメイキング）・食事援助（食事介助）
- ・ 排泄援助（自然排尿・排便援助） ・活動・休息援助（歩行介助・移動の介助・移送、体位変換、廃用症候群予防・関節可動域訓練） ・経口薬の与薬確認
- ・ 症状・生体機能管理（バイタルサインの測定） ・感染予防（スタンダードプリコーションの実施、必要な防護用具選択、防護服着脱のバディ）
- ・ 安全確保の技術（転倒転落防止策の実施）
- ・ その他：通信機器の不具合調整、家族からの衣類や差し入れの受け渡し、採血やPCR検査の検体の受け取りや運搬、洗濯出し、情報提供書類のデータ取り込み、福祉用具の清掃等
- ・ 夜勤業務：なし

その他の病棟での支援

なし

病院プロフィール

- 病院の機能説明：
一般病床、回りハ、地ヶア、
障害者のヶアミックス
- コロナ患者対応：あり
- 全病床数：床395
うち1病棟33床にコト感染
専門病床5床設置、ゾーニ
グ、患者動線等を改築
- 感染対策の教育：
当院ICNからアイソレーション教育